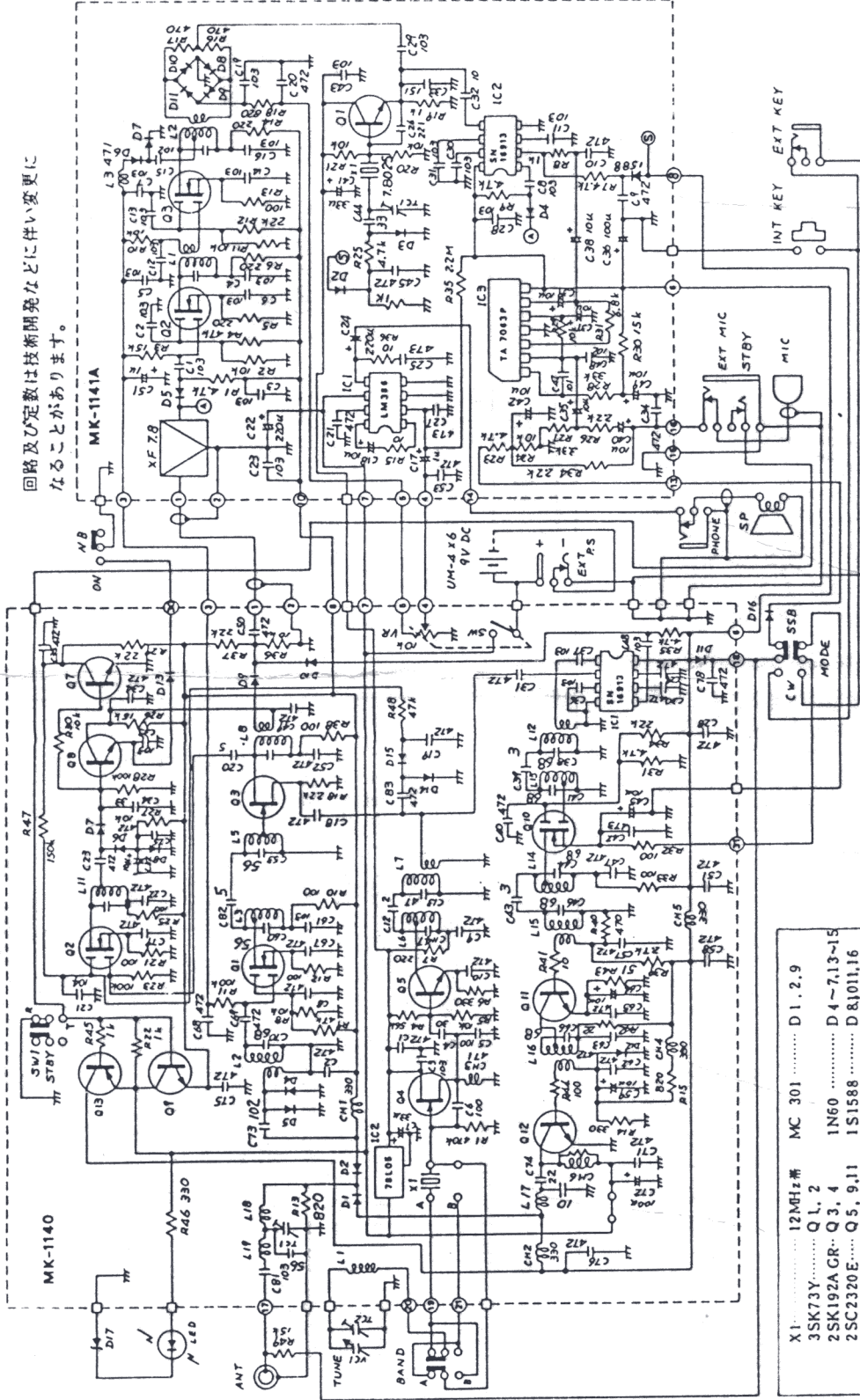


MX-10Z 回路図

回路及び定数は技術開発などに伴い変更になることがあります。



2SC2320E.....	Q1	MC 301	D3
3SK59GR.....	Q2, 3	IN60	D6~11
1S1588.....	D2, 4, 5	MK-1141A	P. C. B	

X1	12MHz	D1, 2, 9
3SK73Y.....	Q1, 2			
2SK192A GR.....	Q3, 4			D4~7, 13~15
2SC2320E.....	Q5, 9, 11			1S1588.....
				D8, 10, 11, 16
				1S1555.....
				D12
				05Z5.1.....
				D17
2SC2320F.....	Q7, 8			
3SK59GR.....	Q10			
2SC2053.....	Q12			
2SA719Q.....	Q13			
				MK-1140
				P. C. B

1. 開局申請について

MX-10Zで開局申請をする場合、機器に関する項目については、下記のように記載して下さい。

電波の型式 周波数、空中線電力
(A3) ※, 28 MHz帯, 0.3 W)

発射可能な電波の型式 (A 3J ※)

周波数の範囲 (28 MHz帯)

変調の方式 (平衡変調)

終段管の名称, 個数 (2SC2053 × 1)

電圧入力 (8.5V 0.6W)

◎ 電信モードも申請する時は、※印にA₁を追加して下さい。

JARL登録機種 登録番号 MK-11

2. ビコ10Zの改造 Q&A

- ◎ 電源表示LEDをスタンバイSWを押すと点燈するようにしたい。(送信時のみ点燈させたい。)
- ▲ LEDの黄線をプリント基板側ではなくして、330Ωの抵抗を通して送信時+9Vラインにつなげば、OKです。図-1を参照下さい。
- ◎ CWモードでサイドトーン回路を付けたい。

▲ 図-2を参考に配線します。半固定VR10KΩは、モニター音量調整です。ダイオードは全て1S1588を使っています。スピーカ側基板(ジュネレータ部)のIC LM-386の2ピンと送信時+9Vライン間に入っている、1~2.2MΩ(R35)の抵抗は必ずはずして下さい。送信中にモニター音が出ますから、その分だけ電池の消耗が早くなります。(10~20mA)

- ◎ Sメーターを付けたいのですが。
- ▲ シグナルレポートは、説明書の最終項目のような内容で送るのが一番ですが、Sメーターは図-3の方法で付けることは出来ますので実験されてみて下さい。

図-1

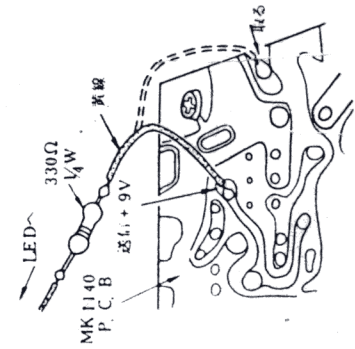


図-2

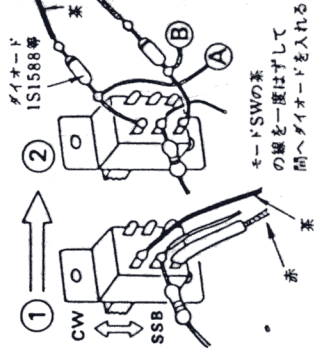


図-3

